

Express5800シリーズ

StorView Ver. 3

インストールマニュアル

(N8190-132/137用)

– Linux版 –

商標について

ESMPRO は日本電気株式会社の登録商標です。

Microsoft、Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Linux は Linus Torvalds 氏の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Red Hat および Shadowman logo は、米国およびその他の国における Red Hat, Inc.の商標または登録商標です。

MIRACLE LINUX の名称およびロゴは、ミラクル・リナックス株式会社が使用件許諾を受けている登録商標です。

Mozilla は Mozilla Foundation の登録商標です。

Netscape、Netscape の N および操舵輪のロゴは米国 Netscape Communications Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

StorView は英国 Xyratex 社の登録商標または商標です。

記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

ご注意

- (1)本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2)本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3)弊社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

はじめに

本書では、Express5800 シリーズにおける N8190-132 ディスクアレイ装置(ST12300 SATA-HDD モデル)及び N8190-137 ディスクアレイ装置(ST12300 SAS-HDD モデル)を Linux 上で管理・保守する StorView のインストール方法について説明しています。StorView はディスクアレイ装置(ST12300)が接続された本体装置にインストールします。

本書の内容は、Linux の機能や操作方法について十分に理解されている方を対象に説明しています。Linux に関する操作や不明点については、各 OS のオンラインヘルプなどを参照してください。

また、文章内で使用される画面イメージは実際と多少異なる場合があります。

なお、N8190-132 ディスクアレイ装置(ST12300 SATA-HDD モデル)及び N8190-137 ディスクアレイ装置(ST12300 SAS-HDD モデル)の内容については各ディスクアレイ装置(ST12300)に添付の説明書を参照してください。

また、N8190-132 ディスクアレイ装置(ST12300 SATA-HDDモデル)及びN8190-137 ディスクアレイ装置(ST12300 SAS-HDDモデル)については、文章内でディスクアレイ装置(ST12300)と略す場合があります。

ESMPRO の機能や操作方法については、ESMPRO のマニュアルなどを参照してください。

本文中の記号について

本文中では次の 2 種類の記号を使用しています。それぞれの意味を示します。



重要

ユーティリティや装置を取り扱う上で守らなければならない事柄や特に注意をすべき点を示します。



ヒント

知っておくと役に立つ情報や、便利なことなどを示します。

目次

1. 概要	5
1.1. StorViewについて	5
1.2. 主な機能について	5
1.3. インストールの流れ	6
2. StorViewのセットアップ	8
2.1. 動作環境	8
2.2. StorViewをインストールする前に	9
2.3. StorViewのインストール	9
2.3.1. インストール手順	9
2.3.2. 起動確認とバージョン確認方法	11
2.4. アンインストール	13
2.4.1. アンインストール手順	13
3. 環境設定	14
3.1. アラート通報のセットアップ	14
3.1.1. 通報テーブルのセットアップ	14
3.1.2. アラート通報設定	15
3.2. Webブラウザのセットアップ	16
3.2.1. Netscapeのインストール手順	16

1. 概要

1.1. StorView について

StorView は、N8190-132 ディスクアレイ装置(ST12300 SATA-HDD モデル)及び N8190-137 ディスクアレイ装置(ST12300 SAS-HDD モデル)のアレイ管理ユーティリティです。このユーティリティを使用することで、ディスクアレイ装置(ST12300)のコンフィグレーション、モニタリング、メンテナンスを行うことが可能です。このユーティリティは Web(HTTP)サーバアプリケーションであり、クライアントには Web ブラウザを使用します。なお、クライアントはサーバ上でのみ動作させていただきます。サーバと異なるネットワーク経由でのクライアント動作はサポートしていません。

1.2. 主な機能について

StorView には 3 つの機能があります。

- ・ **コンフィグレーション機能**

アレイのコンフィグレーションや再コンフィグレーションを GUI 上から容易に行うことができます。

- ・ **モニタリング機能**

StorView はアレイの状況および資源の利用状況についての情報を監視(モニタリング)し、その内容をグラフィカルに表示します。イベントやエラーは、ログとして決められたファイルに登録されます。また、ESMPRO/ServerAgent、ServerManager と連携することでアラート通報を行うことができます。

- ・ **メンテナンス機能**

StorView は、ディスクアレイシステムを GUI で管理、メンテナンスします。ハードディスクドライブのリビルド、ホットスペアの選択、アレイの初期化などを行うことができます。

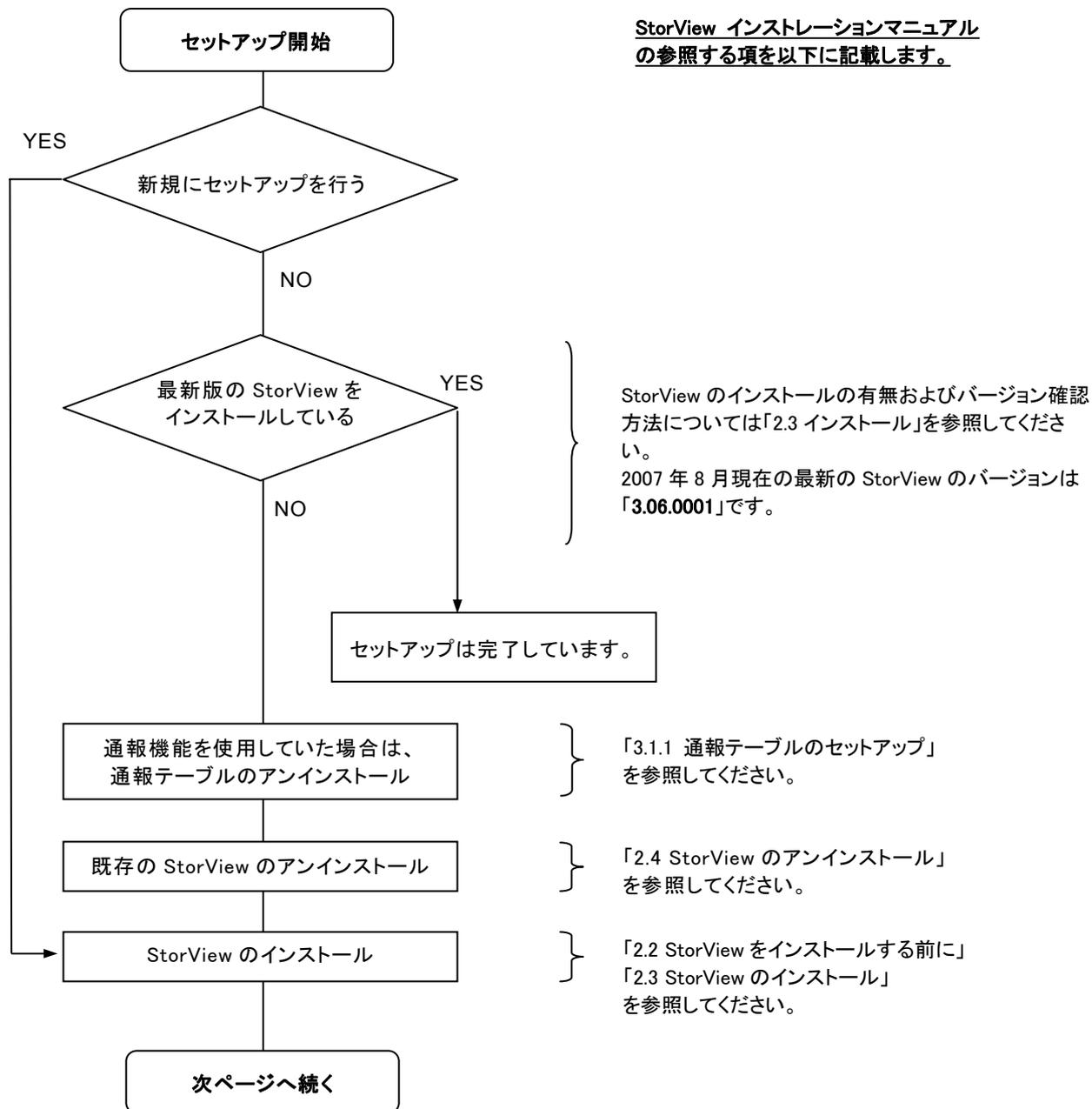
上記の StorView の機能については、「StorView Ver.3 オペレーションマニュアル(N8190-132/137 用) -Linux 版-」を参照してください。

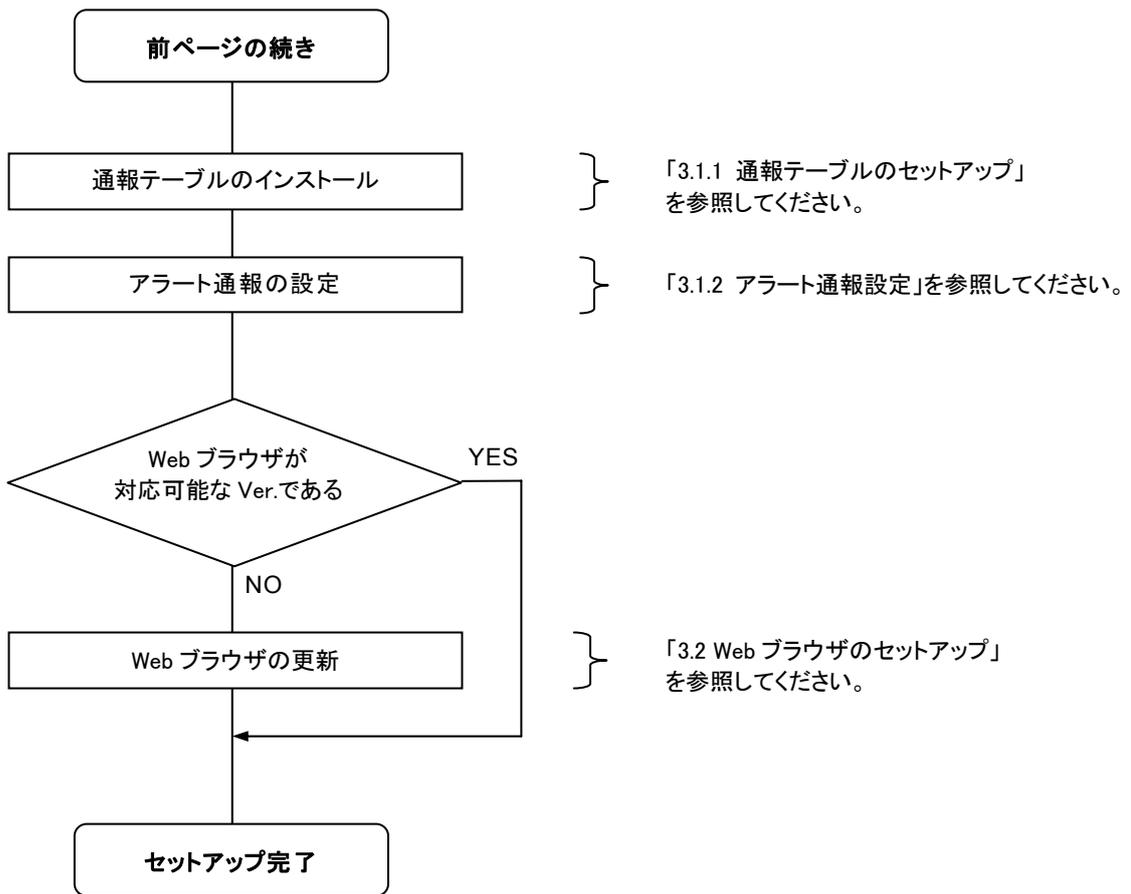
1.3. インストールの流れ

以下の手順に従い、各種ソフトウェアのインストール、設定を行ってください。



- ・以下の手順は root ユーザで実施してください。
- ・クラスタサーバ環境で使用する場合は、以下の手順を両方の本体装置で実施してください。





2. StorView のセットアップ

2.1. 動作環境

StorView が動作するために必要なハードウェアとソフトウェアの動作環境について以下に記載します。

・ ハードウェア

- 本体装置 : N8190-132 SATA ディスクアレイ装置(ST12300 SATA-HDD モデル)及び N8190-137 ディスクアレイ装置(ST12300 SAS-HDD モデル)を接続している Express5800/100 シリーズ
- ハードディスクドライブの空き容量 : 150MB 以上 (Web ブラウザのインストールに必要な容量は含んでいません)

・ ソフトウェア

- Netscape 7.0 以上
- Mozilla 0.9 以上

※動作確認済み Linux ディストリビューションについては、「NEC ビジネス PC/Express5800 情報発信サイト 8 番街」の「Linux 動作確認情報」を確認してください。

[URL] <http://nec8.com/>



StorView を動作させるためには、システムをランレベル5で起動し、Web ブラウザがインストールされている必要があります。また、StorView の動作のためには、以下のパッケージが適用されている必要があります。
ヒント (これらのパッケージは通常、ランレベル5では適用されています)

<必要パッケージ一覧>

```
libaprutil-0.so.0 libc.so.6 libc.so.6(GLIBC_2.0) libc.so.6(GLIBC_2.1)
libc.so.6(GLIBC_2.1.2) libc.so.6(GLIBC_2.1.3) libc.so.6(GLIBC_2.2) libc.so.6(GLIBC_2.3)
libc.so.6(GLIBC_2.3.3) libcrypt.so.1 libcrypt.so.1(GLIBC_2.0) libdl.so.2
libdl.so.2(GLIBC_2.0) libdl.so.2(GLIBC_2.1) libexpat.so.0 libgdbm.so.2
libgssapi_krb5.so.2 libk5crypto.so.3 libkrb5.so.3 libm.so.6 libm.so.6(GLIBC_2.0)
libnsl.so.1 libpthread.so.0 libpthread.so.0(GLIBC_2.0) libpthread.so.0(GLIBC_2.1)
libpthread.so.0(GLIBC_2.1.1) libpthread.so.0(GLIBC_2.2) libpthread.so.0(GLIBC_2.3.2)
libresolv.so.2 librt.so.1 libz.so.1
perl >= 0:5.003 perl(AnyDBM_File) perl(Fcntl) perl(strict)
rpmlib(CompressedFileNames) <= 3.0.4-1
rpmlib(PayloadFilesHavePrefix) <= 4.0-1
```

2.2. StorView をインストールする前に

StorView をインストールするときは、次に示す事柄を準備しておいてください。

- ・root ユーザでログインしていること。
- ・TCP/IP の設定が終了していること。
- ・SAS コントローラ用ドライバをインストールし、ロードしていること。

2.3. StorView のインストール

StorView のインストール方法について説明します。

2.3.1. インストール手順

次の手順に従って StorView をインストールします。



ヒント

- ・StorView のインストール状況は、以下のコマンドを入力して確認できます。

```
# rpm -qi StorView
```

- ・下記インストールコマンドを実行した際、以下のエラーメッセージが表示され、インストールが失敗する場合があります。エラーメッセージ内に表示された必要なパッケージをインストールした後、再度 StorView のインストールを実行してください。

```
Error: Failed dependencies:
XXXXXXXXXX is needed by YYYYYYYYYY
Suggested resolutions:
ZZZZZZZZZZ ←必要なパッケージ
```

- ・StorView のモジュールは /opt/StorView ディレクトリ配下にインストールされます。
- ・インストール直後は StorView サービスが停止しているため、直ちに N8190-132 ディスクアレイ装置(ST12300 SATA-HDD モデル)及び N8190-137 ディスクアレイ装置(ST12300 SAS-HDD モデル)を管理するには StorView サービスを起動させる必要があります。以下のコマンドを入力してサービスを開始させた後、Web ブラウザを起動させてください。

```
# /etc/rc.d/init.d/StorView start
```

- 1) ダウンロードした RPM ファイルを確認し、以下のコマンドを入力してインストールを開始する。

```
# rpm -Uvh storview-3.06-xxxx-nec-en.sv (「3.06-xxxx～」はバージョン番号)
```

インストールが開始され、ライセンス同意確認メッセージが表示されます。



ヒント

- ・RPM ファイルの内容について確認するには、以下のコマンドを入力します。

```
# rpm -qpi storview-3.06-xxxx-nec-en.sv
```

- 2) ライセンス同意確認内容を良く読み、「yes」または「y」を入力する。

スペースキーで画面をスクロールさせながら内容を良く読み、

```
Do you agree to the above license terms? [yes or no]
```

が表示されたら「yes」または「y」を入力してください。
入力後、StorView ライセンスマネージャ選択メッセージが表示されます。

3) 「1」(StorView Remote Manager)を選択する。

StorViewライセンスマネージャ選択メッセージ(下図)が表示されたら、「1」を入力してください。

Select a StorView License Manager: 1. StorView Remote Manager - Provides local & remote access plus monitoring failover. 2. StorView Global Manager - Provides local & remote access plus full global access w/ email alerts. q. Exit Enter choice :

入力後、ユーザ名登録確認メッセージが表示されます。

4) ユーザ名を登録する。

ユーザ名登録確認メッセージ(下図)が表示されたら、任意のユーザ名を入力してください。

Please enter a USER NAME:



・ユーザ名は、OSに登録済みのユーザと同一である必要はありません。任意のユーザ名を入力してください。

ヒント

・ユーザー名は半角英数字で最大32文字まで入力できます。



入力したユーザ名は、インストール完了後にWebブラウザ上でStorViewを操作する際に必要となりますので、忘れないように十分注意して管理してください。

重要

入力後、パスワード登録確認メッセージが表示されます。

5) パスワードを登録する。

パスワード登録確認メッセージ(下図)が表示されたら、任意のパスワードを入力してください。

Please enter a PASSWORD:

上記操作の後、パスワード登録再確認メッセージ(下図)が表示されます。上記操作と同じパスワードを入力してください。

Please confirm the PASSWORD:



・パスワードの入力は必須です。パスワード無しの設定は行えません。

ヒント

・パスワードは、OS登録済みユーザのパスワードと同一である必要はありません。任意のパスワードを入力してください。

・パスワードには半角英数字で最大32文字まで入力できます。



入力したパスワードは、インストール完了後にWebブラウザ上でStorViewを操作する際に必要となりますので、忘れないように十分注意して管理してください。

重要

入力後、インストールが開始されます。

インストールが完了すると以下のメッセージが表示されます。

INSTALLATION COMPLETED

インストール完了後、必要に応じて、「3. 環境設定」の手順に従い、アラート通報機能を追加してください。

2.3.2. 起動確認とバージョン確認方法

次の手順に従って StorView が正常に起動していること、およびバージョンを確認します。



- ・StorView を操作するには X-window(GUI)環境が起動されている必要があります。起動されていない場合、以下のコマンドを入力して起動させます。

ヒント

```
# startx
```

1) Web ブラウザを起動させる。

X-windowメニューまたはアイコンよりWebブラウザを起動させます。

2) アドレスバーに StorView サーバアドレスを入力する。

Webブラウザのアドレスバーに以下のアドレスを入力して、StorViewサーバにアクセスします。

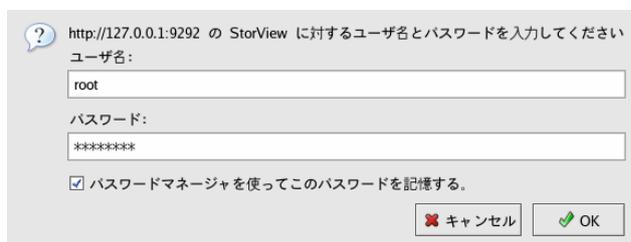
```
http://127.0.0.1:9292/ または http://localhost:9292/
```

アクセスが成功すると、ユーザ名とパスワードの確認ダイアログボックスが表示されます。

3) ユーザ名およびパスワードを入力してログインする。

ユーザ名とパスワードの確認ダイアログボックスで、StorViewのインストール時に入力したユーザ名およびパスワードを入力し、「OK」ボタンをクリックしてログインします。

ログインが成功すると、StorViewのメイン画面が表示されます。



4) StorView のバージョンを確認する。

StorView 画面上的「ABOUT」ボタン(右図)をクリックして、StorView のバージョンを確認します。





ヒント

- ・クラスターサーバ環境では、監視機能を抑止されたサーバ側の StorView 画面は右図のように表示されます。この場合、画面上の「**Take Control**」をクリックして監視可能にした後、StorView のバージョンを確認します。



2.4. アンインストール

2.4.1. アンインストール手順

次の手順に従って StorView をアンインストールします。

- 1) root ユーザでログインする。
- 2) StorView をアンインストールする。

以下のコマンドを入力し、StorView をアンインストールしてください。

```
# /opt/StorView/UninstallStorView
```

アンインストールが完了すると以下のメッセージが表示されます。

```
## Package StorView-3.06-xxxx uninstalled successfully (「3.06-xxxx～」はバージョン番号)
```

アンインストール完了後、必要に応じて、「3. 環境設定」の手順に従い、アラート通報機能を削除してください。

3. 環境設定

3.1. アラート通報のセットアップ

N8190-132/137 ディスクアレイ装置(ST12300)のアラート通報を行う場合、以下の手順に従って ESMPRO/ServerAgent をインストールした本体装置への通報テーブルのインストール、および ESMPRO/ServerManager をインストールした本体装置でのアラート通報の設定を行ってください。

3.1.1. 通報テーブルのセットアップ



通報テーブルのインストール状況は、以下のコマンドを入力して確認できます。

ヒント

```
# rpm -qi storview-alert-jpn
```

3.1.1.1. 通報テーブルのインストール

以下の手順に従って通報テーブルをインストールします。

- 1) root ユーザでログインする。
- 2) ダウンロードした RPM ファイルを確認し、通報テーブルをインストールする。

以下のコマンドを入力し、通報テーブルをインストールしてください。

```
# rpm -ivh storview-alert-jpn-x.xx-xx.i386.rpm (x.xx-xx)はバージョン番号)
```



RPM パッケージファイルの内容を確認するには、以下のコマンドを入力します。

ヒント

```
# rpm -qpi storview-alert-jpn-x.xx-xx.i386.rpm
```

以上でインストールは完了です。

3.1.1.2. 通報テーブルのアンインストール

以下の手順に従って通報テーブルをアンインストールします。

- 1) root ユーザでログインする。
 - 2) 通報テーブルをアンインストールする。
- 以下のコマンドを入力し、通報テーブルをアンインストールしてください。

```
# rpm -ev storview-alert-jpn
```

以上でアンインストールは完了です。

3.1.2. アラート通報設定

以下の手順に従って EMSPRO/ServerManager をインストールした本体装置にてアラート通報設定を行います。



本設定は Linux 環境ではなく、EMSPRO/ServerManager がインストールされている Windows 環境のシステムにて実施する作業となります。

ヒント

1) ダウンロードしたファイル「STRALERT.EXE」を起動させる。

「Alert 通報レジストリ設定」ダイアログボックスが表示されます。

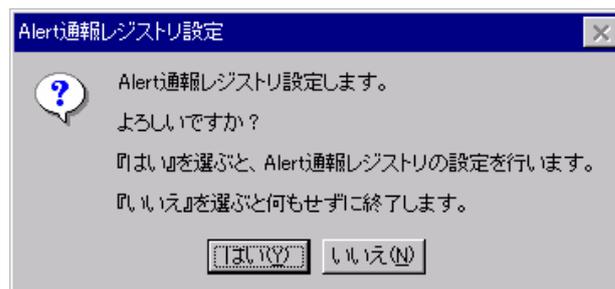


ダウンロードファイル「STRALERT.EXE」は実行形式ファイルです。自己解凍圧縮形式ファイルではありません。

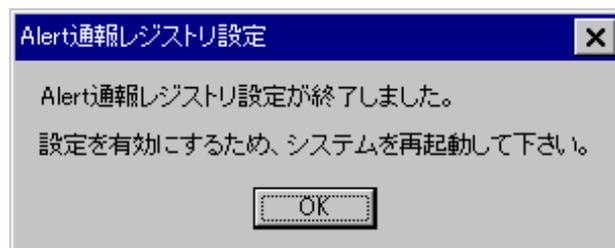
ヒント

2) [はい(Y)]をクリックする。

Alert 通報のレジストリ設定が実施され、終了すると「Alert 通報レジストリ設定」の終了を示すダイアログボックスが表示されます。



3) [OK]をクリックする。



4) 設定を有効にするため、本体装置を再起動させる。

以上でアラート通報の設定は完了です。

3.2. Web ブラウザのセットアップ

StorView は Web ブラウザ「Netscape」バージョン 7.0 以上、または「Mozilla」バージョン 0.9 以上がインストールされた Linux 環境で正常に動作するため、対応したバージョンのいずれかの Web ブラウザを入手し、インストールしてください。本節では Netscape のインストール方法について説明します。



- ・ Mozilla のセットアップ方法および注意/制限事項については Web サイト等を参照してください。
- ・ Netscape の注意/制限事項については、Web サイト等を参照するか、または提供元に問い合わせてください。

ヒント

3.2.1. Netscape のインストール手順



Netscape をインストールするには X-window (GUI) 環境が起動されている必要があります。起動されていない場合、「2.2.3 起動確認とバージョン確認方法」のヒントに従って X-window 環境を起動させてください。

ヒント

1) ダウンロードした圧縮形式ファイルを任意のディレクトリ配下にコピーし、展開する。

以下のコマンドを入力すると、コピー先ディレクトリ配下に「netscape-installer」ディレクトリが作成され、インストールに必要な複数のファイルが展開されます。

```
# tar -zxvf netscape-i686-pc-linux-gnu-sea.tar.gz
```

2) インストール開始スクリプトファイルを起動させる。

netscape-installer ディレクトリ配下に展開されたインストール開始スクリプトを起動させると、インストール確認ダイアログボックスが表示されます。

```
# ./netscape-installer
```

以降の手順については、ダイアログボックスに表示されたガイダンスに従ってください。

以上でインストールは完了です。

Express 5800 シリーズ
StorView Ver.3
インストールマニュアル
(N8190-132/137 用)

- Linux版 -

2007年 8月 初版

日 本 電 気 株 式 会 社
東 京 都 港 区 芝 五 丁 目 7 番 1 号
TEL (03) 3454-1111 (大代表)

© Xyratex 1999-2007

© NEC Corporation 2007

日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。